

あじさい Vol.15

〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel.(078)351-0657(代表) http://www.kobe-kango.ac.jp/

第一回 あじさい祭



本校の建学の精神は、「兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成をする」ことであり、教育目標の一つに「保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う」

ことをあげています。地域貢献活動として平成30年8月2日、3年課程を開校後初めて、学校祭「あじさい祭」を開催しました。本校が2年課程(定時制)を運営していた頃は学校祭を開催していませんでしたが、過密なカリキュラムの中の運営が難しい等の理由で2年課程の閉校に伴い学校祭も行っていませんでした。しかし、医療を取り巻く環境は大きく変化し、地域における保健医療福祉の充実が更に必要とされ、地域貢献としての看護も求められている中、看護学生としてできる地域貢献社会貢献を考え、約18年ぶりに学校祭を開催することになりました。

本校の校花が「あじさい」であることから「あじさい祭」と称し、地域の方々との交流を図ること、そして、地域の中で存在している看護師養成所である本校の周知を目的に、学校周辺の地域の方々や自治会の方々、保護者の方々に来校いただき、学生たちの協力努力のもと、第一回の「あじさい祭」を無事終えることができました。

学校祭は、学生が地域に関心を持つこと、地域を知ることで、地域とのつながりを感じてもら

う良い機会であると同時に、地域貢献社会貢献について考える良い機会ともなります。

今回、住民が参加できる健康に関する内容として、血管年齢測定やロコモ体操、身体測定、バイタルサイン測定、リラクゼーションとしてスウェーデンハンドセラピーなどを行いました。その中でも一番の人気は血管年齢測定でそれを目当てに参加された方もおられ、自己の健康状態への意識の高さや地域住民の健康管理に関するニーズを知ることができたように思います。

また、学生が様々な方々との交流を図っている様子を見て看護学生としてのさらなる成長につながることも感じさせられた学校行事となりました。

学校と地域との連携共生は課題であり難しい事ですが、まず今できることとして地域住民が参加できる「あじさい祭」を継続させ、高齢者や子どもたちなど地域住民のニーズも考えながら地域貢献活動を行っていきたくと考えています。

学校長 大西 安代



平成30年度 卒業証書授与式

3月6日、56名の学生が無事に卒業を迎えることが出来ました。入学時と比べ卒業生の自信溢れる表情に個々の成長を実感し、感慨深い気持ちでいそいそです。



4月からは看護師として、社会人として自覚を持って頑張っていくしてほしいと願います。

平成31年度 入学式



平成31年4月5日、17期生70名の新入生を迎え、入学式が執り行われました。学生達は緊張感を漂いながらも、決意も新たに看護師という夢に向けてスタートしました。

学内演習



1年生
リネン交換
臨床患者の環境を
整えています



2年生 沐浴
新生児の清潔の援助技術を
練習しています



輸液ポンプの
セッティングを
練習しています



学生同士で
実際に
採血の練習を
しています

3年生 卒業前技術演習



3年生
西村 宏代

3年間の実習の中で、多くの患者さんと関わらせて頂き、「コミュニケーションのとり方や患者さんに寄り添えるような看護を考えることの大切さを学びました。統合看護学実習では、2名の患者さんを受け持ち、時間管理を行いながら患者さんと関わることの難しさも感じました。決められた時間の中で、学校として関われることは何か、教員の先生や指導者の方からご指導をいただきながらパンフレットの作成や指導などを行い、「わかりやすく作られている、ありがとっ」と患者さんの笑顔を見ることができ、とても嬉しかったです。3年間の実習を振り返り、疾患を抱えながら治療を行われている患者さんは、様々な苦痛を感じられているのに、学生に対して笑顔で接して頂いたりケアを行わせて頂き、看護の楽しさや、個性性を考えた関わり方の大切さを知ることができました。

3年間の実習を終えて



3年生
津田 和明

これらの学びを今後の看護に生かし、一人一人の患者さんに寄り添った看護を行えるようにしたいです。

3年間の実習を振り返ると、長いようであっという間でした。様々な施設で看護師さんや患者さん、そこで働く職種の方と出会い、いい経験となりました。

私は社会人で入学し、未経験で入ったので全てのこと新鮮で、同時に知識と技術両方が大切で、患者さんの命に関わる仕事であるという責任の重さを感じ、自分自身の勉強不足がそのまま影響してしまう恐さも学びました。毎日の行動計画やアセスメントは難しく感じ、悩むこともありましたが、患者さんから「ありがとっ」「あなたが担当してくれて良かった」など、お礼を言ってくれたり、元気になっていく様子は辛さや疲れも全て吹っ飛びました。3年間を通して感じることは、「しんどい時もあるけれど、自分自身でしっかりと向き合って考える」ということです。実習を乗り越えられたのは、まわりの人の協力があったこそなので、教員やメンバーとのチームワークを大切にしながら残りの学生生活を有意義なものにして下さい。応援しています。

1年生69名の「平成30年度あじさい式」が9月21日に、3年生、教員が見守る中、厳かに挙行されました。式では一人ひとりがるうそくの灯をナイチンゲール像より採火し、目指す看護師像を宣誓、そして全員でナイチンゲール誓詞を斉唱しました。人の命に向き寄り添うことの大切さ、幅広い知識や確かな技術の提供、チームワークの必要性など、看護の心がいつまでも人を照らし続けますようにと願うばかりです。

1年生担当教員

あじさい式

私達はナイチンゲールより看護の灯火を頂きました。第16期生の一人一人が自己の理想を胸に看護師像の前で誓いの言葉を述べました。私自身も今まで漠然とした思いが決意となって将来に対する意識が明確になりました。このあじさい式を振り返ることで、自己の魂に人生の意味として問いかけるきっかけになると思います。

1年生 山本 裕



学外演習

3年 京都



5月初旬、3年生は京都へ学外研修に行きました。午前中は受験の神様として知られる菅原道真公をお祀りした北野天満宮へ国家試験合格祈願に行き、絵馬を書きました。おみくじなども引き、一言一憂しながら楽しく過ごせました。午後は嵐山へ移動して京都のおぼんざいで食を満たし、竹林散策などで仲間との交流を行いました。学年全体で行う学外行事は数が少なく、仲間との親睦を深める楽しい時間を過ごすことができました。

2年 京都



2年生は、バスに乗り京都へ行ってきました。まずは、皆で生八つ橋作り。最初は真剣にそのうち笑い声が聞こえ、自身で作った物を写真に収めたり、皆で仲良く写真を納めたりと楽しい時間を過ごしました。その後、豪華な昼食。若干時間が短かったけれど、皆、ほぼ完食。あつぱれです。最後は、清水寺周辺の散策へ。残念ながら雨降りでしたが、お土産を購入したり、甘い物を食べたり、思い思いに楽しく過ごすことができました。学外研修となりました。

1年 淡路島



5月初旬、学外研修に行きました。あいにくの雨でしたが、淡路島でうどん打ち体験をしました。まだ、入学してひと月足らずで、学校生活やお互いに慣れ始めた頃、共に協力し合い、初めての共同作業を行いました。打ちたてのうどんの美味しさに加えて、自分たちで作らあげたうどんは格別の味でした。お互いの新たな一面を知り機会でもありました。看護においても、ひとつの目標に向かって協働することは重要です。お互い切磋琢磨し、成長していつかほしいと感じました。



未来教育 プロジェクト学習

4月13日に兵庫県中央労働センターにて、鈴木敏恵先生を講師に迎え、未来教育プロジェクト学習を開催しました。今年も1年生から3年生の学年を超えたピアサポート編成でワークショップが行われました。

「ビジョンとゴールを自己決定できる人。自分を客観的に見ることが出来る人になる。」
「自分で自分を成長させる人になる。」など、この1年で、できる人になろう！の目標を掲げ、意志ある学びを実現するための学習方法について学ぶことが出来ました。



卒業生 カムバックデー

3月に卒業した13期生が5月28日、カムバックデーで学校へ戻ってきました。久しぶりに出会う同級生と現在の状況をお喋りして盛り上がりました。お互いの状況を確認しながら明日からの看護師として働く活力となりました。また、今回は3年生の14期生と就職に関すること・実習に関すること等のグループディスカッションが行える交流時間を持ちました。それぞれにとって有意義な時間となりました。



平成30年度 就職説明会

4月12日、兵庫県中央労働センターにて就職説明会を行いました。病院ごとに設けたブースに学生が訪れ、説明を聞く形式です。会員病院の35施設にご参加いただきました。学生は病院リストを手に積極的に動き、熱心に説明を聞き、将来について考える貴重な機会となりました。



神戸看護専門学校 ビブリオバトル大会

ビブリオバトルをご存知でしょうか。ビブリオバトルとは、各自がおすすり本を紹介し、それぞれが読みたかった本を選ぶゲームで、選ばれた本を「チャンプ本」といいます。本校では、闘病記の読書により患者理解を深めること、ビブリオバトルを通して読書量の増加、他者の発表を聞くことで多様性に気づくこと、プレゼン能力向上などを目指して実施しています。

昨年度は全学年で予選、2つの会場に分かれて頂上決定戦を行い、各会場の「チャンプ本」が選ばれました。
アンケート結果によると、約7割の学生が楽しんで参加したようでした。自由記述でも、患者理解につながったと思われる「闘病記を読んで、患者さんや(患者さん)を支える人の心情理解ができた」、「患者さんの思いや看護のあり方について考えた」などの意見がみられました。また「本への興味がわいた」、「同じ本を読んでも私自身と他の人の感じ方が違うので、客観的な意見を聞いた」、「聴く人を引き込むプレゼンの仕方を得た」など、ビブリオバトルならではの感想もあり、所期の目的を果たせたのではないかと考えています。多様性を尊重でき、患者を慮ることが出来る看護師の養成につながる(かもしれない)闘病記ビブリオバトルを、今後も実施していきたいです。

教育理念・教育目的・教育目標

教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがえのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



同窓会だより

2月14日、神戸看護専門学校の講堂にて国家試験激励のために、応援のメッセージと合格祈願の品を送りました。

3月には卒業式、4月には入学式に参加しました。

また、毎年5月には同窓会総会を開催しますので、ご参加いただければ幸いです。同窓会活動へのご理解とご支援を引き続き、よろしくお願いいたします。

同窓会会長 木村 莉沙



2019年度 年間予定表

行事		行事		
4月	入学式 就職説明会 講演会 健康診断 防火訓練	9月	学生間交流会(全学年) あじさい式(宣誓式) 防災訓練 ピブリオバトル	
	学生間交流会(全学年) 新入生歓迎会 学外研修(全学年) 未来教育プロジェクト学習	11月	推薦・社会人入学試験	
	5月	卒業生カムバックデイ	12月	解剖見学(1年生) 学生間交流会(全学年) 実習指導者研修会 ケーススタディ
	6月	芸術鑑賞(1年生)	1月	一般入学試験(一次)
	7月	あじさい祭	2月	一般入学試験(二次) 講演会
	8月	オープンキャンパス	3月	卒業証書授与式 入学前説明会 実習指導者会議 就職先教育担当者会議

あじさい 第15号
発行日 令和元年5月17日
発行所 公益社団法人神戸市民間病院協会
神戸看護専門学校
発行責任者 大西 安代
印刷所 有限会社 河里盛広館

編集後記

元号が「令和」に変わり、初めての季刊誌刊行となりました。「令和」の解釈はまだですが、美しいこと、新しい文化をつくり上げていくという意を受け、本校も縦割りのピアサポート体制のもと、皆で協力し合い、あじさい祭の開催や学生が主体的に学ぶ環境づくりなど、充実した学校生活を送れるよう職員一同支援してまいります。引き続き、この季刊誌をとおし、魅力ある学校の情報を発信し、より多くの方から選ばれる学校づくりを目指してまいります。今後とも関係者の皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

迫田 貴子

第108回 看護師国家試験合格者

国家試験合格率	
全国平均 (新卒者)	本校
94.7%	98.2%

